



おまち~

Vol.
84

2014. 7. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課(まちづくり推進係)



祝 世界遺産登録！ 富岡製糸場と絹産業遺産群



【投稿】NPO活動を通した
「よりよいまちづくり」を目指して

マーチィ'sROOM

- マーチィに訊け 地名由来の探求
“伊勢崎市間野谷町”の由来
- マーチィ VOICE ファシリテーター紹介
- マーチィの掲示板 平成26年度パートナー
ネットワーク講座受講者募集中！

【まちづくりイベント情報】

県内で行われるイベントの紹介

- マーチィの独り言 編集担当の新井です



群馬県が目指す“まちづくり”と国が目指す“まちづくり”

官民連携のまちづくり -前橋市中心商店街活性化に向けて-

表紙：富岡製糸場と絹産業遺産群



群馬県が目指す“まちづくり”と 国が目指す“まちづくり”

群馬県 県土整備部 都市計画課 まちづくり推進係

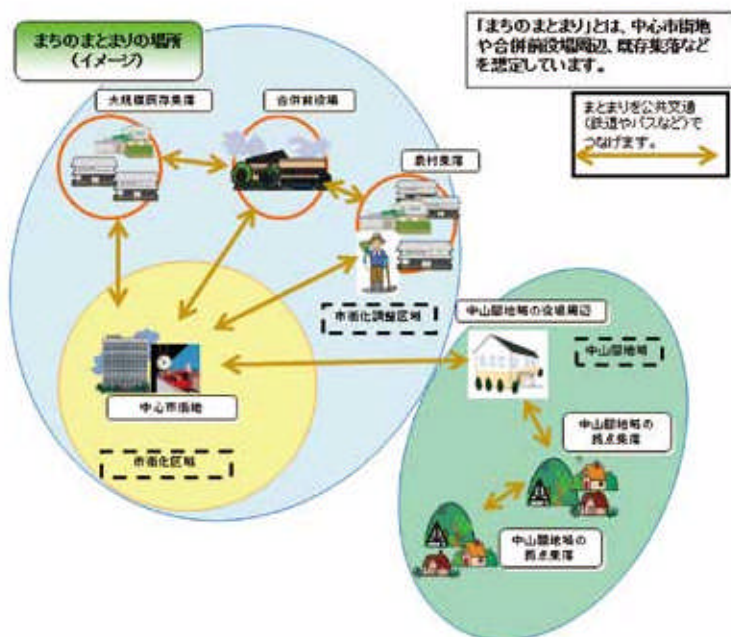
群馬県が目指すまちづくり『ぐんま“まちづくり”ビジョン』

群馬県では人口減少と高齢化が同時進行する局面において、ぐんまらしい持続可能なまちづくりの実現に向け、平成24年9月に『ぐんま“まちづくり”ビジョン』を策定し、今後のまちづくりを進めるための方向性や取り組み方針などを示しています。

ビジョンの特長は、以下の通りです。

- ①既存の「まちのまとまり」を守りながら、それらを公共交通(鉄道やバス等)などでつなぎます。「まちのまとまり」は中心市街地だけでなく、右図のとおり中山間地等の集落を含めた取り組みです。
- ②人口増加時代のまちづくりでは、個々の課題に対して個別に解決策を講じて活力を維持してきましたが、これからは人口減少を前提として、まち全体で不都合が生じないよう全体最適を考えて施策に取り組むまちづくりへと転換していきます。

群馬県が目指す“まちづくり”のイメージ



国が目指す“まちづくり”～都市機能集約に向けた動き～

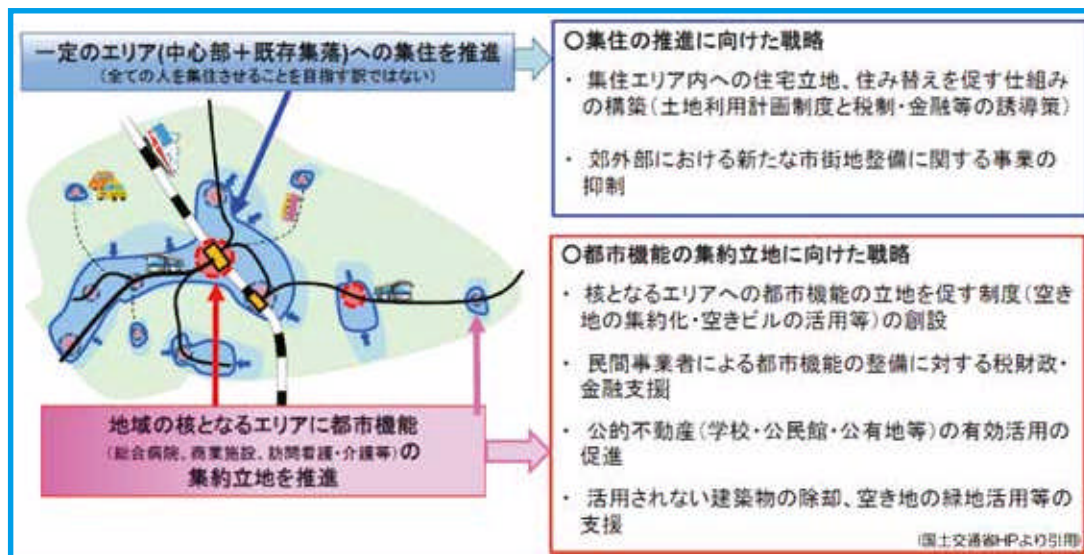
国では今年、法律を改正して市町村が市街地に都市機能(医療・社会福祉・教育文化・商業施設等)の計画的配置と人口密度維持を目指したまちづくりに取り組めるよう支援制度を拡充します。

国の考え方は、市街地の「まちのまとまり」を維持して公共交通で結ぶという「多極ネットワーク型のまちづくりを目指す」としています。これは群馬県が取り組む「ぐんま“まちづくり”ビジョン」の考え方に合致しており、この制度を活用したまちづくりに注目しているところです。

この制度を活用するには市町村が『立地適正化計画』を作成し、居住を誘導するエリアと都市機能の立地を促進するエリアを設定する必要があります。

市町村が立地適正化計画を作成すると、市町村と条件を満たす民間事業者が国の補助対象となったり、補助のかさ上げなど優遇措置があります。

国が目指す“まちづくり”のイメージ



立地適正化計画策定による国の支援イメージ

○生活に必要な都市機能(医療・社会福祉・教育文化・商業)を都市機能誘導区域内へ誘導するため、都市機能整備を実施する民間事業者に対し、国から直接支援。(補助率1/2)

○地方公共団体からの支援額については、民間事業者に対する公有地等賃料の減免額や固定資産税等の減免額等を計上することが可能。

○「①低・未利用地の活用」「②複数の敷地の集約・整序」「③既存ストックの活用」「④都市機能の複合整備」を行う事業については、交付対象事業費のかさ上げを行い、民間負担を軽減。

○地域特性に応じた支援タイプの整理
(人口密度維持タイプ、高齢社会対応タイプの創設)

○国からの支援のイメージ



・(A)と(B)のいずれか低い額が国からの支援額になります。
・一定の要件に該当する場合、補助基本額(設計費・賃借料以外)のかさ上げにより、民間事業者負担を1/3から1/5に軽減可能です。

○交付対象事業範囲

・新設及び空きビル等既存建築物を活用した都市機能整備に要する費用

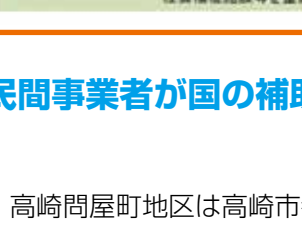


※1:23%相当に限る
※2:緑地、広場、道路等の公共の用に供する敷地に相当する部分に限る

①低・未利用地を活用し、土地を有効利用することにより、生活に必要な都市機能を整備



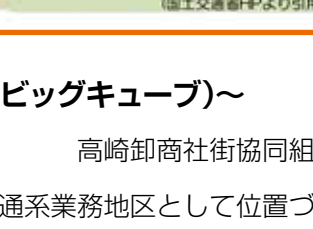
②既存ストックの有効活用を図るため、コンバージョンにより、生活に必要な都市機能を整備



②複数の敷地の集約・整序を行い、土地を有効利用し、生活に必要な都市機能を整備



④中心拠点の核の形成に向けて、生活に必要な都市機能を複合整備



民間事業者が国の補助対象となった事例 ～ビエント高崎展示会館(ビッグキューブ)～

高崎卸商社街協同組合

高崎問屋町地区は高崎市都市計画マスタープランにおいて、商業業務地であり流通系業務地区として位置づけられています。

高崎問屋街は昭和42年、日本で第1号の卸商業団地「高崎問屋街」として完成以来、全国の卸団地の先駆けとして、国・県・高崎市等関係当局の支援を得ながら、高崎卸商社街協同組合が中心となって今日までのまちづくりを推進してきました。高崎問屋街センター展示会館は昭和41年、問屋街を中心に組合員の商品展示等を主な目的として建設されたものです。

平成16年のJR高崎問屋町駅の開業に伴う小売業や飲食店の出店により、街の業態が急激に変化する中、新たな都市基盤整備やマンション建設が進み、また大学が進出するなど、「商」と「住」が融合する新たな問屋街として生まれ変わりました。このように問屋街全体が大きく変化する中、地区の集客の核として機能してきた問屋街センター展示会館ですが、昭和41年に建設されたために老朽化が進んだことから、平成24年度に都市再生整備計画事業(地方都市リノベーション事業)に位置付けて建て替えを実施し、都市機能及び交流機能の更なる強化を図りました。

新展示会館は公募により「ビッグキューブ」と名付けられ、地域活性化のシンボルとして、また、地域コミュニティ活動の中核を担う「高崎副都心」のランドマークとして様々な利用を見込んでいます。

○ビエント高崎「ビッグキューブ」施設概要

竣工：平成26年1月

大型重機や印刷機器等の重量物展示や、IT設備や音響設備の充実及び大型スクリーンの設置等により、組合員の販売促進のための共同施設としてだけでなく、様々な利用も見込まれています。



官民連携のまちづくり

—前橋市中心市街地活性化に向けて—

株式会社オリエンタル群馬 中埜 智親・前橋市都市計画課 地域計画係

まちづくりは 地域の“思い”と“熱意”から

地元商店街の植木氏、大橋氏と設計者である石田教授（工科大）をはじめ前橋青年会議所 OB、前橋商工会議議員、商店主など中心市街地再生に熱意ある方々により学生専用のシェアハウス『シェアフラット馬場川』が実現されました。（事業主体：「前橋まちなか居住有限責任事業組合」）この取り組みは、群馬県の「商店街活性化コンペ」において最優秀賞を受賞するなど、中心市街地の課題解決に向けた新たな取り組みとして多方面から高い評価を受けています。

①: Façade（撮影：木暮伸也氏）

②: salon (kitchen)

③: room

④: common(bathroom)

②③④: シェアフラット馬場川ホームページ (share-babakkawa.com) より



これからの まちづくりの拠点として期待

シェアフラット馬場川の1階にあるテナントスペースには、まちなかから移転したジュエリー専門店と山本前橋市長が「まちづくりをプロデュースする会社」と表現された株式会社オリエンタル群馬が入居をしました。

さらに、コミュニティスペース（mBOX）も併設しており、官民連携にて事務所開設を記念したまちづくりシンポジウムを開催しました。そして、山本前橋市長からの「中心市街地は人と人が“結”び、新たな価値を創造する場である」といったビデオメッセージからはじまり、地域のキーパーソンによるパネルディスカッションを行いました。



コミュニティスペースを活用したまちづくりシンポジウムの状況



馬場川通りの今後について工科大などの関係者による議論の状況

散在する課題に対して 的確な制度設計が重要

前橋市ではこの取組みに対して、平成 25 年度には建築設計費や建築工事費の一部の補助金（前橋市中心市街地住宅転用促進事業）による支援に加え平成 26 年度からは、シェアハウスに居住する学生に対して地域の商店街などへのボランティア活動や行事参加などを前提に家賃の一部を助成する補助金事業（前橋市学生等向け中心市街地居住促進事業）を制度化しました。

「シェアフラット馬場川」をはじめ、他にもシェアハウスを中心に既存ストックを活用して住宅用に転用する動きが出始めております。

この流れを止めず、着実に推進することが次の課題であるとも考えております。そのため、前橋市では、地域の実情を把握するため、積極的な情報交換や情報収集により、民間事業者等が取り組みやすい新たな制度づくり、既存制度の緩和さらには、補助金制度の新設及び拡充などの支援策の充実を図っていきたいと考えております。

時間と空間のシェアによる 交流の促進

株式会社オリエンタル群馬では、少し大げさですが、この取組みをどのように活かすかが、前橋の将来の羅針盤にもなると考えております。一人のプレイヤーとしてではなく、プロデューサーという責任を持ち、関わっていきたくて思っております。そのひとつとして、mBOX を、多くの方々にさまざまな目的で利用をして頂き、その活動を通じて、人と人との交流を促進していきたいと考えています。さらに、地域への情報発信として、まえばし CITY エフエムの“What’s BOX”という番組を担当しており、その番組のコーナーでは、シェアフラット馬場川の学生にも出演して頂いています。



まえばしCITYエフエムでの“What’s BOX”放送状況

⑤ 上毛新聞社事業局出版部発行…「ぐんまの手仕事」展示販売状況
⑥ 声で「人」と「人」を繋げる「VOICE」のUSTREAMで配信状況
⑦ 学校法人木村学園前橋文化服装専門学校 校外授業の状況
⑧ 地域の企業連携（職能）によるまちづくり事業の議論の状況



まちづくりには多様な職能と 新たな知恵が必要

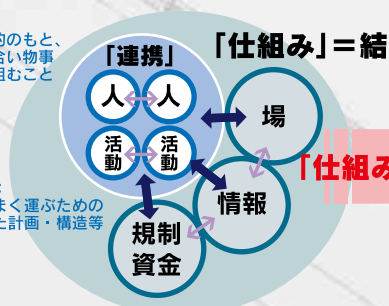
官民連携には、官側と民側の間に調整が必要であり、市民発意のアイデアをどのように具現化するか、また行政施策にどのように市民力を付加し推進するかだと考えます。

地域には、まちづくり（地域活性化）に興味がある企業等の多様な職能が知恵を出し合うことで、新たな価値を創造できると考えます。そして、前橋では「前橋〇〇部」という活動をはじめ、アーツ前橋を核とした多くの文化・芸術活動などが展開されています。従来の官民連携ではなく、少しだけ民（市民）が主体となる新たな官民連携の“かたち”があると思います。当社も“未来を地域とともに”という理念の下、企画力、実行力等で、まちづくりを推進していければと考えています。

まちづくりをプロデュース

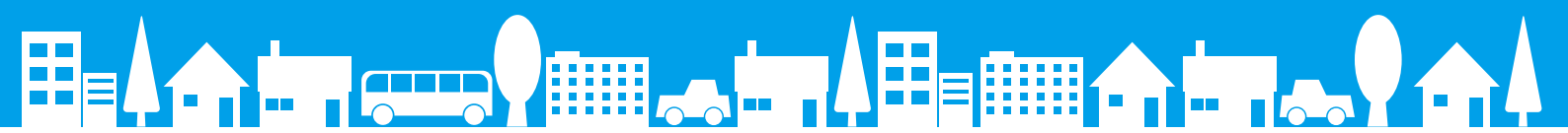
「連携」：
同じ目的のもと、
協力し合い物事
に取り組むこと

「仕組み」：
物事をうまく運ぶための
工夫された計画・構造等



まちに
『新たな価値』
を創出

まちづくりシンポジウムにおいて議論となった
「まちづくりをプロデュース」の概念図



NPO活動を通した 「よりよいまちづくり」を目指して

NPO法人TEEP代表 齊田典之

1. NPO設立の趣旨

私たちTEEP(Town・Ecology・Educate・Produce)は、公共事業コンサルタントとして経験と専門的能力を備えた人材で構成し、「ワークショップ(以下、WSと記す)の企画運営」や「地元まちづくりリーダーの育成」また「設計技術に裏打ちされた住環境改善手法の提案」などを通して、地域の方々の「まちづくり技術」に関するレベルアップを図り、行政との課題解決に向けた「前向きな協働体制の構築を支援する」ことを目的として、平成19年3月に認証されました。

2. これまでの主な活動

平成19年度の高崎市・中央第二土地区画整理事業における事業計画の見直し検討を始めとし、これまで様々な形でまちづくりWSの企画運営などのお手伝いをしてきました。

最初にお手伝いさせていただきました中央第二地区は、地域の方々と行政との間で、事業に対する目的や意識が乖離していたため、事業が停滞しておりました。そのなかで、私たちは実質4年間をかけ、地域の方々と様々なWSを重ねることで、地域の意見やニーズを反映させた事業計画の変更にとどり着きました。

まずWSを始めるにあたっては、反対意見を主張し続けたり、進行を妨害したりする方の参加も懸念されましたが、いざ実際に開催してみると、参加されたおおむねの方々はとても協力的で、かつWSの趣旨や目的を理解され、前向きな議論を進めることができました。

ご自分の意見を述べ、他の方々の意見を聞くという基本的なやりとりを、参加者全員がルールとして守ることで、達成感や充実感を感じていたようです。

現在中央第二地区では、順調な事業進捗が図られておりますが、このWSで地域意向の丁寧な反映という成果が出せた要因は、構成メンバーが公共事業コンサルタントとしての技能を備え、地域の方々に対しても適切な意見、提案ができるという私たちNPOの特性を理解していただき、WSの企画運営に大胆な裁量を与えてくださった施行者(高崎市)のご理解がきわめて大きいものと感じております。

その他の事例では、歩行環境の改善を目的とした「歩いて安心事業(群馬県主催)」や地区計画制度の啓蒙を目的とした「まちづくりルール勉強会」、さらに昨年度からは「NPO法人わんだふる」でもご活躍の赤羽潤子防災士のご指導をいただきながら、地域防災に関するWSもはじめており、設立以来15地区(地域)以上の「まちづくり」に関わらせていただいております。

3. これからの目標

小生が市街地整備コンサルタントの端くれとなってから約30年以上経ちましたが、これまでにまちづくりの手法は様々な変化してきました。また、より注意すべきことは「まちづくりの目標の変化」であります。

農村でない「都市まちづくり」を目指した「高度成長期」にはじまり、その後^{あかあ}垢抜けした「街づくり」を目指す時代が長く続きましたが、人口の減少が前提条件となった現在では、農村も都市も等しく、地域の方々が住みやすいと感じる「よりよいまちづくり」を目指す時代となりました。

「よりよい」と感じるには、画一的で絶対的な価値観ではなく、柔軟で相対的な価値を評価することが求められると思います。拠点都市機能構築といった絶対的な事業目的のエリアは別として、「住みやすさ」とは、そこに住む人が主体として感じるものであり、誰かが決めるものではないと思います。

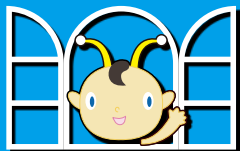
これからも私たちは、WSや勉強会などを通して、地域の方々の声を聞き取り、行政との「前向きな協働体制」を作り上げるお手伝いを続けたいと思います。

そして、WS終了後に「今日は参加して本当によかったよ」と言って握手を求めてくださる方が一人でも増えることを目標、励みとして、一層の努力を続けたいと思います。



ワークショップの様子





マーチィ's ROOM

マーチィに訊け！

●群馬地名由来の探求●

間野谷駅
(国鉄両毛線の岩宿―国定間に
あった無人駅で現在は廃駅)



【今月の
一枚】



まち's クリ



マーチィ

ねえ、マーチィ。読み方が難しい

“伊勢崎市間野谷町”について教えてクリ！

なかなか読みづらいこの地名は、間野谷町（あいのやちょう）と読み、旧赤堀町だったんだよ。間野谷町には、北は一本杉から稲荷神社にかけた部落と南は二本松あたりを中心とした部落があったんだ。北の部落には西鹿田の苗字の家が多く、南の部落には国定村の苗字の家が多くあって、間野谷とは、この北と南の野の出合う所の谷という意味から由来しているんだよ。永禄年間に鹿田村と国定村の境が決められ、北と南の間の野の出合う無人の土地に人が住むようになり間野谷がつくられたんだよ。

参考資料：「わたしたちの地名ぐんま」(社)群馬県子ども育成団体連絡協議会発行

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介● 『ふじおか市民討議会』 実行委員会 委員長 田口 勇夫 企画 桐 渕 崇



田口勇夫さん



桐 渕 崇さん



講座の様子

平成25年度の「パートナーネットワーク講座」を受講し、大下教授や滝沢さん、また県内の広い地域の方々と共に受講でき大変有意義に過ごすことができました。

現在、私たちは藤岡市で「ふじおか市民討議会実行委員会」及び「会議ファシリテーター普及協会 藤岡支部」でまちづくり活動をしています。「ふじおか市民討議会」においては、過去6年の実績があり今年で7年目となりますが、大きな変革期を迎えています。そもそも「ふじおか市民討議会」は、＜藤岡青年会議所(JC)＞と＜藤岡市(行政組織)＞の協働理念に基づく「協定」により運営されていました。しかし、昨年この協定は満期を迎え今年より市民が主体となって活動をしなくてはなりません。現在、実行委員の市民有志は『誰もが参加できる楽しいまちづくり』を模索しています。

「会議ファシリテーター普及協会 藤岡支部」においては、昨年は自治体職員向けの研修や企業向けの研修、また自分たちのスキル向上を目的とした研修を行いました。そして今年は、藤岡市の市制施行60周年記念事業として、「市内の子供達に語ってもらう場」を企画しています。自分たちの(ふじおかの)夢や未来像を子供たちに語り合ってもらおうことで、より地域に関心を持つきっかけとなるとともに、コミュニケーションの向上を目的としたサロンとなります。

『楽しいまちづくり』の活動を通して地域の役に立ち、また『パートナーネットワーク講座』を受講された方々とも今後も繋がっていただけたらと思います。

藤岡市ホームページ企画課 ふじおか市民討議会
ふじおか市民討議会オフィシャルサイト
会議ファシリテーター普及協会 藤岡支部

http://www.city.fujioka.gunma.jp/kikakuka/f_kikaku/shimin-tougikai.html
<http://www.fujioka-tgk.k-o-m-a-n-e-k-o-jp/>
<http://www.mfa-fujioka.zone-f.jp/>

マーチィの掲示板

平成26年度パートナーネットワーク講座受講者募集中！

今年もパートナーネットワーク講座を開催します。この講座は、住民主体のまちづくりを推進していく上で、参加者の意思統一を図るために用いられる手法「ワークショップ」の技法を習得し、まちづくりリーダーを育成しようとするものです。

実践的な講座の中で、まちづくりに必要な知識・技術を楽しみながら学ぶことができます。

市町村職員の方はもちろん、まちづくりを実践している方やまちづくりに興味を持っている方など、是非参加してみてください！



【入門編（県庁）】

8月28日(木)・29日(金)

【発展編（渋川市）】

10月3日(金)・4日(土)

【応用編（みどり市）】

11月7日(金)・8日(土)

参加申込は、各市町村都市計画課又は、群馬県都市計画課まちづくり推進係までお願いします。





まちづくりイベント情報



赤煉瓦倉庫実験活用22 「昭和レトロな手ぬぐい展」

歴史資産を活かしたまちづくりに取り組んでいる「まちづくり玉村塾」が行う昭和レトロな手ぬぐいを赤煉瓦倉庫で展示します。(玉村宿まち歩きスタンプラリーは 26日のみ開催。午後1時～4時 雨天中止)

■ 7月26日(土)～7月27日(日)
13:00～19:00

■ 桐生信用金庫赤煉瓦倉庫
(玉村町下新田国道354号沿い)

【お問い合わせ先】

事務局 玉村町生涯学習課文化財係
Tel 0270-30-6180



第51回 桐生八木節まつり(桐生祇園祭)

桐生祇園祭りは、歴史的な町並みが残る桐生新町地区で、約350年に渡り続いている伝統的な行事で、現在は八木節祭り合わせて行われています。歴史や伝統、文化・まちづくりを大切にしていける桐生人の心意気を示すお祭りです。

■ 8月1日(金)～8月3日(日)

時間はイベントによって異なります(八木節踊りは毎日午後7時頃から)

■ 市内本町通り、
錦町、末広町ほか

【お問い合わせ先】

桐生市産業経済部観光交流課
Tel 0277-46-1111
(内線367)



今だからこそつながろう 福幸市(ふっこういち)

沼田市中心市街地のにぎわい創出の為、気仙沼支援物産市・姉妹都市下田物産市・地元朝どれ野菜利根実高校生徒販売会、その他販売市が行われます。イベント…気仙沼海産物やサンマが当たる福引、カラオケ教室・発表会、まちなか散歩参加者募集(後日実施)、【現時点の概要ですので詳しくはお問い合わせ下さい】

■ 9月15日(祝) 10:00～16:00

■ 沼田市中町 六斎広場
(国道120号市役所入口
交差点)

【お問い合わせ先】

中の会商店街振興組合
理事長 中島庸一
Tel 0278-22-005



FUNDACION Real Valladolid Japan Tour 2014 - Maebashi Hitachi Ota -

参加者募集
7/13まで!

プロ選手のような生活をそのまま経験できる夏!!

群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」

許諾番号第 28-100203

主催: FUNDACION Real Valladolid Japan Tour 2014 実行委員会

株式会社 **オリエンタル群馬**

詳細は Web で検索 FRV サッカーキャンプ

FRVJT2013映像を見る!

スマホ専用アプリ「PostAR」

PostAR | 検索

思いやりの伝わるまちづくりをめざします

私たちTEEPは、公共事業コンサルタントとしての十分な経験と専門的能力を備えた人材が集う組織で、まちづくりのノウハウに関する市民一人ひとりのレベルアップに貢献し、行政と対等で前向きな連携をサポートしていきます。

みんなのまちづくり
TEEP

代表 齊田 典之

技術士:建設部門(都市計画)

特定非営利活動法人

Town Ecology Educate Produce

事務局 〒370-0002 高崎市日高町580 (株) 高崎測量内

TEL 027-361-2271 Mobile 090-1456-7338

E-mail tk_n_saida@takasoku.co.jp

帝京大学 観光経営学科

Department of Tourism Management

八王子キャンパス オープンキャンパス

2014年 7月13日(日)・8月3日(日)
8月24日(日)・9月21日(日)

10:00～16:00(受付時間15:30まで) カールスワース同時開催!

・大学説明会/入試説明会
・学生によるキャンパスツアー、フリートーク
・予約不要、入退場自由 ・詳しくはホームページをご参照ください

学際的教養、豊かな国際感覚、
確かな専門知識をあわせ持った
人材を育成します。

・観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
・「旅行業務取扱管理者」資格取得に向けての
万全のフォロー体制。
・実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

お問い合わせ 八王子キャンパス情報グループ TEL: 0120-508-739 〒192-0395 東京都八王子市大塚 359 URL: http://www.teiyo-u.ac.jp

マーチの独り言



今回の84号から編集を担当させて頂くこととなりました、新井と申します。

まちづくりの知識はまだまだ乏しいですが、いろいろなものを見て・感じて情報を収集していきたいと思っています。

8月に開催されるパートナーネットワーク講座に、今年は受講生の一人として参加予定です。そこで一人でも多くの読者の方々とお会いできるのを楽しみにしています。「おっ!! まっちゃん〜」ともども、よろしくお願い致します。

新井 祐美



有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

群馬県県土整備部都市計画課まちづくり推進係 TEL 027-226-3665 URL <http://www.pref.gunma.jp/06/h5810001.html>